



# 防災って楽しい！「防災フェスタ」を開催！

—自衛隊カレー1,000食が参加者にふるまわれる—

と き 9月10日(日) 午前10時～午後0時30分

と こ ろ 東京学芸大学附属国際中等教育学校(東大泉5-22-1)

10日、区は東京学芸大学附属国際中等教育学校(東大泉5丁目)で子どもからお年寄りまで、地域のみなさんが防災を身近に感じてもらうことを目的に、「防災フェスタ」を開催し、延べ2,200人が参加した。

はしご車搭乗体験、起震車体験、水消火器を使った初期消火訓練、災害用伝言ダイヤル体験、日本救助犬協会の救助犬による災害時救助デモンストレーション、消防署職員および水道局職員によるスタンドパイプを使った初期消火・応急給水訓練などが行われた。

また、今年新たに、災害時の非常食体験として、自衛隊によるカレーの炊き出しが行われ、同校ボランティア部の協力のもと、約1,000食が参加者にふるまわれた。

防災フェスタに来た30代の男性は、「楽しく防災のことを学べて大変なためになった。普段、見ることができない救助犬の訓練や自衛隊のカレーの炊き出しは、貴重な体験でした」と話してくれた。

関係団体による出展ブースでも工夫を凝らした展示物が紹介されており、多くの来場者でにぎわった。



▲救助犬デモンストレーションの様子



## 【防災フェスタ内容】

### 1 各種体験訓練など

起震車による地震体験、水消火器を使った初期消火訓練などの体験型訓練をはじめ、ライフライン機関や区内各企業によるブース展示、体育館では避難拠点の備蓄物資の紹介、AEDの操作訓練、日本救助犬協会の救助犬による災害時救助デモンストレーション、消防署および水道局職員によるスタンドパイプを使った初期消火・応急給水訓練などが行われた。



▲フェスタの全体写真

### 2 自衛隊および東京学芸大学附属国際中等教育学校ボランティア部による炊き出し

今年、新たに自衛隊および東京学芸大学附属国際中等教育学校ボランティア部の協力のもと、災害時の非常食の体験として、カレーの提供を行い、約1,000食を参加者に提供した。



▲初期消火訓練の様子